

令和6年度 学校自己評価（年度初め）

<p>本年度の 重点目標</p>	<p>1 社会的自立に向けて、自己肯定感を高め、主体的に取り組む生徒を育てる。 2 従来の指導方針を継承しつつ、社会のニーズも視野に入れたキャリア教育を進める。 3 いじめ・不登校等への支援、作業中の事故や熱中症等への対策を通して、安全で健康的に活動できる環境を整える。 4 エ夫とコミュニケーションにより、業務量の適正化を図る。</p>		
<p>項目 (担当)</p>	<p>重点目標</p>	<p>具体的方策</p>	<p>留意事項</p>
<p>生徒の主体性の伸長（教務部）</p>	<p>自立活動の充実を図る。</p>	<p>・自立活動担当者にて、自立活動の取り組み方、自分ノートの内容等を検討する。</p>	<p>・自分ノートの内容と実習日誌が連携できるように内容を検討する。 ・抽出指導の在り方を見直し、代わる活動等を検討する。</p>
<p>生徒の主体性の伸長（教育支援部）</p>	<p>自己肯定感を高め、主体的な行動につなげる取組の実施</p>	<p>・重点目標を校内研究のテーマとして設定し、全職員が、重点目標の達成を目指して、担当する授業や諸活動で取り組めるようにする。</p>	<p>・昨年度、職員間で自己肯定感と主体性の共通理解が難しかったので、校内研究のテーマを「うまくいかないときに、どう支え、どう励ますか～ありのままの自分受け入れ、前を向けるように～」とし、各職員に取り組んでほしいことを具体的に示す。</p>
<p>教育課程の見直し、キャリア教育の充実（教務部）</p>	<p>個別の指導計画の適切な目標設定と評価の実施（3観点評価）</p>	<p>・各観点で適切な評価を行うことができるよう各教科会で検討する。</p>	<p>・教務部として、各観点の評価の課題を整理する。 ・各教科会と情報交換を行う。</p>
<p>教育課程の見直し、キャリア教育の充実（進路指導部）</p>	<p>生徒の実態に即した進路指導の充実を図る</p>	<p>・授業や実習等を通して生徒の「社会で活躍できる力」を把握する。</p>	<p>・授業の様子や実習を通して生徒の実態把握を丁寧に行う。 ・本校の生徒に必要な力を職員で共有し、協力して進路指導を行えるようにする。</p>
<p>人権意識の涵養、安全教育の充実（保健体育部）</p>	<p>心身ともに健康的な学校生活の実現</p>	<p>・日々の健康観察から、心や身体の状態を把握し、いじめや不登校などに学級や学年の職員と連携して対応する。 ・保健室の利用状況、事故報告書や「ヒヤリハット事例」を分析、活用し、けがや事故の予防につなげる。</p>	<p>・必要に応じて、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー医療関係者等と連携して対応する。 ・危険予知トレーニングの実施率向上を図るとともに「ヒヤリハット事例」の活用をしていく。</p>
<p>人権意識の涵養、安全教育の充実（総務部）</p>	<p>改修工事に伴う物品移動の安全円滑な実施</p>	<p>・改修場所、時期を把握し、安全・確実に物品移動ができるように計画し、実施する。</p>	<p>・各学年と連携して移動時期や移動方法を検討し、内容や日程の周知を図る。 ・長期の工事計画を把握し、行事や学習計画に反映できるようにする。</p>

<p>人権意識の涵養、安全教育の充実 (生徒指導部)</p>	<p>社会ニーズを踏まえた生徒指導の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話、スマートフォンの現実的な扱い方に移行する。 ・生徒会アンケート等を生かして安心できる学校生活にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や生徒の意向を尊重し、誠意をもって対応する。また、ポスター等を積極的に活用し、人としてのマナー意識を高める。 ・日頃から仲間を敬う心を大切にし、注意喚起や啓発活動を生徒会役員中心に行っていく。
<p>教職員の働き方改革の推進 (教育支援部)</p>	<p>eラーニングなどのコンテンツを活用して、授業準備などにかかる時間を削減する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や生徒指導などに有効になるであろう研修会、動画、書籍などを調べ、紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合教育センターやNITSなど、信頼性のあるコンテンツを紹介する。 ・できるだけ「研修履歴」に入力できるようなコンテンツを紹介する。 ・隙間時間で見られるような動画を多く紹介する。
<p>教職員の働き方改革の推進 (寮務部)</p>	<p>従来行ってきた業務を見直し、効率化を目指す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・寄宿舎指導員の支給パソコンの台数が減る中、削減できる業務はないか、年間を通して検討する。 ・寄宿舎生の薬・貴重品の受け渡し方法について変更できないか検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育部や養護教諭、学年主任、管理職等と連携を図り、課題を洗い出し、実現に向けた手立てを考える。
<p>教職員の働き方改革の推進 (部会・運営委員会)</p>	<p>勤務時間の適正化、業務の効率化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容の精選と効率的な役割分担等を検討し、業務の見直し、改善を図っていくようにする。 ・在校時間が長時間化している職員に対してその事情を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校務主任と連携をし、各分掌の業務の現状について、どの業務が時間を多く取っているのか把握する。 ・管理職が必要に応じて、校務主任、学年主任に助言したり、個別に声を掛けたりする。
<p>学校関係者評価を実施する主な評価項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の主体性の伸長 ・教育課程の見直し、キャリア教育の充実 ・人権意識の涵養、安全教育の充実 ・教職員の働き方改革の推進 		